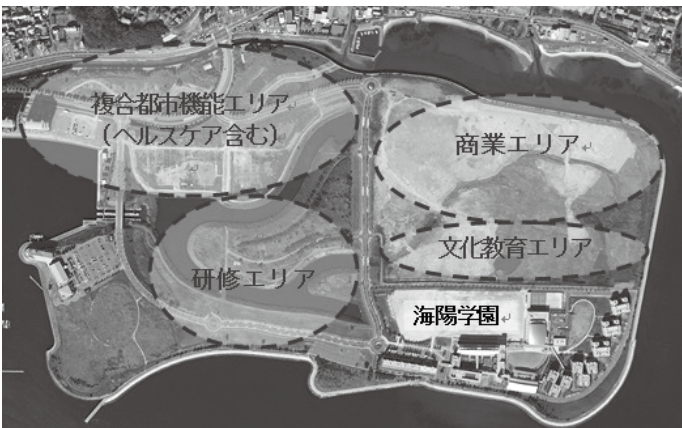


# ラグーナ蒲郡の抜本的改革

## ～新たなまちづくりに向けて～

蒲郡海洋開発株式会社は、今年度、大きな転機を迎えました。今回の抜本的改革により、ラグーナ蒲郡地区が地域を豊かにし、まちの発展に貢献する拠点として今後さらに発展していくよう、市としての役割を果たしてまいります。



新たな土地利用の方向性

### 県・市・トヨタとともに

今年度、市は「ラグーナ未利用地を生かした新たなまちづくり構想」を策定する予定です。その構想を指針とし、県・市・トヨタ自動車を中心となり「ラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会」を立ち上げます。ラグーナ蒲郡地区の新たなまちづくりの方向性や進め方を協議していくものです。

### これからのラグーナ地区

### 新たな展開

### 未利用地の活用

埋立地であるラグーナ蒲郡地区の中には、まだ広い未利用地（土地利用が決まっていない部分）があります。その利活用として、「複合都市機能エリア」「研修エリア」「商業エリア」「文化教育エリア」の4つを位置づけ、市全体の発展に繋げていきたいと考えています。

26年11月に県企業庁は、未利用地の北東部約16ヘクタールを約40億円で購入し、商業用地として、雇用の場の確保、観光客の増加につながる企業の誘致を旨指して開発を進めていく予定です。また、蒲郡海洋開発の未利用地をトヨタ自動車引き受けることになりました。

### 道路の整備

ラグーナ蒲郡地区の発展には、交通インフラの整備が不可欠です。県は、地区内の新たな道路の整備を進めます。市としても、国道23号バイパスの早期開通と、バイパスへのアクセス道路などの整備を、引き続き県に要望していきます。